

国際会長 (I P) A. Shanavaskhan (India)
Together for a Better World

「より良い世界のために、共に」

会長 古田 和彦

アジア太平洋地域会長 (A P) ジョウン・ウォン (香港)

監事 松島 美一

副会長 秋元 美晴

“Make a Great Impact”

ブリテン 秋元 美晴

書記 古賀 健一郎

「変革のための光となろう」

担当主事 菅原 歩

会計 大高 治

東日本区理事 (R D) 山田 公平 (宇都宮)

直前会長 古賀 健一郎

“Our Future Direction”

「ワイズの方向性を見極める」

湘南・沖縄部部長 (D G) 久保勝昭 (横浜つるみ)

「共に支え合い～共に喜びを」

横浜クラブ会長 (C P) 古田 和彦

「楽しんで、できる範囲で、YMCA と地域に仕えよう (パートII)」

<今月の聖句>

秋元 美晴

「なぜ、生きておられる方を死者の中に捜すのか。あの方は、
ここにはおられない。復活なさったのだ。」

(ルカによる福音書 24 章 5, 6 節)

今月のひとこと

『逆転しない正義』

古賀 健一郎

久しぶりにNHKの朝の連続テレビ小説を視聴し始めた。タイトルは「あんぱん」。漫画家・やなせたかしさんとその妻・暢さんをモデルに、子どもたちに大人気の「アンパンマン」誕生までの夫婦の軌跡が描かれている。

この物語は、生前のやなせさんが「アンパンマン」に込めたメッセージから始まる。「正義は逆転する。信じられないことだけど、正義は簡単にひっくり返ってしまうことがある。じゃあ、決してひっくり返らない

正義ってなんだろう。お腹を空かせて困っている人がいたら、一切れのパンを届けてあげることだ」。

「本当の正義のヒーローとは、戦って勝つ者ではなく、ひもじい者に食べ物を与える者だ」という想いから、自分の顔を食べさせることで飢えから人々を助けるヒーローとしてアンパンマンは誕生した。

やなせさんはこうも語っている。「ほんとうの正義というのは、決してカッコいいものではない。必ず自分も深く傷つくものです。」自らを犠牲にして困った人を助ける姿に、多くの人々、特に子どもたちが心惹かれるのだろう。

やなせさんは1940年、21歳で徴兵され、日中戦争の末期から太平洋戦争へと従軍した。弟は海軍に志願し、特攻隊として命を落とした。自身も中国戦線で飢えを経験した。当時、国民の誰もが「これは正義の戦いだ」と教え込まれていたが、やなせさんは「ミサイルで敵をぶっ飛ばすことが正義なのか」と疑問を抱き続けた。そして戦後、「本当の正義とは何か」を問い続け、最終的にたどり着いたのが「飢えた人に一切れのパンを与えることこそが、揺るがない正義だ」という信念であった。

アンパンマンは、派手なヒーローではない。みすぼらしい服を着て、夕暮れにそっと現れ、自分の顔をちぎって差し出した後、恥ずかしそうにそっと去っていく。顔を分け与えるという行為は、「正義とは犠牲なくしては成し得ない」というメッセージの表れでもある。

いま世界では、依然として戦争が続いている。A国とB国がそれぞれ「自国こそ正義」と主張し、正義の名の下に多くの命が奪われている。だが本当の正義とは、どちらの国の立場であっても、目の前の飢えた人に手を差し伸べることではないか。たとえ自らが傷ついたとしても、助けることを選ぶ姿

にこそ、真のヒーローの姿がある。

今年は、戦後80年という節目の年である。戦禍の記憶が薄れつつある中、私たちはなおも続く戦争の現実と向き合わなければならない。

朝ドラ「あんぱん」の冒頭ナレーションには、やなせさんが絵本に込めた「逆転しない正義」のメッセージが語られている。やなせさんが描こうとした「ほんとうの平和とは」「ほんとうの幸せとは」「ほんとうの豊かさとは」一。私たち一人ひとりが、その問いに正面から向き合う時ではないだろうか。

<2025年4月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
11名	メ 6名 メネット 0名 コメント 0名 ビジター 2名 ゲスト 2名 合計 10名	73% (メーキャップ 2名を含む) 前月修正出席 率 %	今月分 切手 0g 現金 0円年 累計 切手 0g 現金 0円

<5月の行事予定>

LT ユース

日	曜日	行事内容	場所
16・17	金・土	第一例会	富士山 YMCA
28	水	第二例会	zoom
31	土	会員総会	とつか YMCA

第一例会報告

古田 和彦

日時：4月10日（木）18：30～20：00

開催方法：中央YMCA812教室とZoomによるハイブリッド開催

出席者：<会場>秋元、大高、古賀、菅原、古田
ビジター：兵藤芳朗（鎌倉・次期部長）、鈴木茂（横浜つづき）、
ゲスト ラジャム ラグル、ジャン チャムセム
<Zoom>齋藤

秋元ワイズの司会で開始。古田会長により開会点鐘と挨拶があり、次いで、ワイズソングを共に歌い、ワイズの信条を唱和する。今月の聖句は古田ワイズが担当。ヨハネによる福音書20章24、25、29節が読まれ、復活の主イエスに出会った弟子たちの様子について聖書から聞き、古田ワイズが祈りをささげた。次いで、ゲスト、ビジターが紹介された。ゲストのラジャム ラグルさんはYMCA日本語学校を卒業して日本の企業で働いているインド人、ジャン チャム

セムさんは、光州YMCAのスタッフで1年間横浜YMCAに研修に来ている韓国人である。

1. 菅原歩さん入会式

4月1日付で当クラブ担当主事になられた菅原 歩(すがはら あゆむ)さんの入会式を執り行った。兵藤次期部長立ち合いの下、古田会長が、ワイズメンズクラブ国際協会が定めている入会式・式文を朗読し、そのために賛同するかと問いかけたところ、菅原さんは「はい」と答え同意の意志を示された。そこで、古田会長は菅原歩さんが横浜クラブの会員になられたことを宣言し、兵藤次期部長がバッチを装着、入会式が完了した。



入会式を終えた菅原さん

2. ラジャム ラグルさんとの懇談

ラジャム ラグルさんは2024年3月にYMCAの日本語学校を卒業、日本の企業でソフトエンジニアとして働いている。日本での生活、仕事の内容、インド（タミル地方の出身）の生活や日本との違いなど、質問する形で種々懇談した。タミル語と日本語の文法が似ていること、食事はやはりカレーが中心であること、日本に来た動機は叔父が在日していること、住まいは家賃が高いので友人と同居していること、会社ではインド人は一人だけだが、仕事上特に言葉の不便はないことなどを話し合った。



兵藤さん・ゲストのラジャムさん・菅原さん

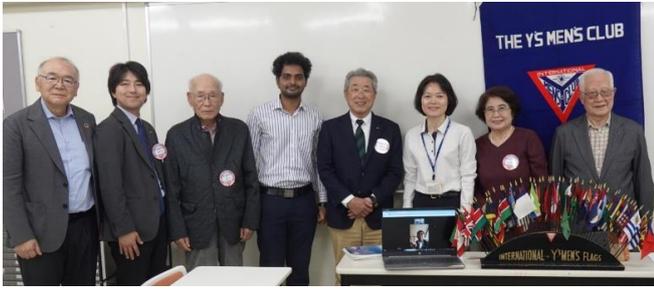
3. ビジネス

配布の資料により説明と確認があった。4月24日（木）の第2例会は都合で16：30開始、一時間で終了することとした。ブリテン編集も原案通り進めることとした。

4. ハッピーバースデーは、該当者がいなかった。

定刻古田会長の点鐘で閉会した。なお、そののち、ゲスト、ビジターのみなさんとともに、軽い食事をとりながら懇親の時を持った。こちらも楽しかった。

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★



2025 年度横浜中央 YMCA

キックオフミーティング参加報告

古田 和彦

日時：4月4日（金）14：00～16：00

場所：9階チャペル

参加者：横浜中央YMCA各部門スタッフ（アフタースクール、健康教育、語学教育、専門学校、中区地域子育て支援拠点のんびりんこ）

横浜ワイズ、運営委員、NPO法人外国人すまいサポートセンター、スペシャルオリンピック日本・神奈川

計約50名

定刻に、専門学校スタッフ山下忠司さんの司会で開始されました。開会礼拝に続いて、スタッフ以外で参加している各団体が紹介され、参加者がそれぞれ団体の活動について説明しました。

長田光文館長から、新年度開始に当たって方針が示されました。それは、横浜YMCA VISION2034 第2期に基づく活動方針と、メンバーシップ・バイ・デザイン

（YMCAは会員組織であり、プログラム参加者から担い手会員になっていただく）を推進していく旨、話されました。次のグループディスカッションでは、11月3日に開催されるウェルカムフェスタが地域のお祭り「関内ハイカラフェスタ」と共同実施されることへの取り組みについて、中央Y各部門が共同で何ができるかについて話し合い報告されました。閉会礼拝で、YMCA基本聖句（ヨハネ17：21）が読まれ、祈禱を捧げて閉会しました。

横浜クラブ参加者：古賀、菅原、古田

『「美しい港町横濱をつくる会」清掃活動報告』

古賀 健一郎

《清掃活動概要》

日時：2025年4月15日（火）9:00～9:55

集合場所：株式会社テレビ神奈川（横浜メディア・ビジネスセンター）前

参加企業：公益財団法人横浜YMCA、(株)キクシマ、(株)テレビ神奈川、(株)みずほ銀行横浜支店、(株)神奈川新聞社、(株)旭広告社、他

「美しい港町横濱をつくる会」は、「横浜を世界一美しい町にしよう」という志のもと、地域貢献に関心を持つ企業や団体が連携し、清掃活動などを行っています。横浜YMCA

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

もその一員として活動に参加しており、この会は横浜の清掃ボランティア活動の中でも最大規模の一つです。

活動エリアは、みなとみらい21地区、山下町、桜木町、関内、ポートサイド地区など横浜港沿岸を中心に広がり、街の美化、地域社会の健全な発展、環境保護に貢献しています。

今回の清掃活動には約200名が参加し、横浜YMCAおよびワイズのメンバーは午前9時にテレビ神奈川前を出発。トングとゴミ袋を手に、ベイスターズ通りを中心に、旧三井住友銀行から横浜信用金庫、横浜開港記念館を経て横浜YMCAまでのコースを清掃しました。特に駐車場周辺では、ポイ捨てされたタバコの吸い殻などのごみが目立ちました。

港町という点で横浜に親しみをを感じる長崎出身の私にとって、今回の活動には深い意義がありました。横浜出身5代目の妻と共に参加し、「横浜を世界一美しい町にしよう」という趣旨に共感しながら、ごみ拾いに汗を流しました。

【横浜クラブ参加者】

古賀メン、古賀メネット、佐竹、菅原、古田



部主催 ワイワイ交流会報告

古田 和彦

日時：4月26日（土）10：00～14：00

場所：三浦YMCA グローバルエコビレッジ シーサイド

参加者：部内7クラブの会員 約30名

うち横浜クラブ参加者：古賀、齋藤、菅原、古田

心配された天気も良く、三浦半島の海岸に面した一角にある三浦YMCA グローバルエコビレッジ（シーサイド）で、部内各クラブの有志で楽しいひと時を過ごしました。

10時に集合し、久保部長から本日の予定などオリエンテーションがあり、10時半ごろから、改装なった体育館でクラブ対抗卓球大会が行われました。横浜クラブは齋藤・古田組と古賀・菅原組で対戦、鎌倉、厚木、大和を撃破して優勝してしまいました。優勝賞品にお菓子とノンアルコールビールを獲得、それは、他のクラブを含めた参加者の皆さんに食事の折分配しました。

12時前からバーベキュー会場に移動、4つの窯でふんだんに肉、野菜、焼きそばを焼き、焼き上がりを次々と食べ、お茶を飲みながらクラブを超えて談笑しました。中には入会してまだ間もない方もおられましたが、好天の爽やかな

緑の中、打ち解けて話し合う良い時となりました。

予定では、その後、散策など自由に時間を過ごすことになっていましたが、皆、満腹でこれ以上は無理と言うことで、14:00 兵藤次期部長の挨拶をもって解散しました。

なお、三浦 YMCA への交通ですが、三崎口から YMCA までの往復を菅原さんが車を出して送迎していただきました。大変助かりました。お礼申し上げます。

近況報告

これから100年

大高 治



1990年代の末、私は何度かフィリッピンに出張して、市場調査等をしました。当時治安が悪かったこともあり、「飛行場でタクシーを拾うな」と忠告されました。事前にホテルから予約をして毎回同じ運転手さんに迎えに来てもらい、お客様訪問もお願いしました。運転手さんとは親しくなり、いろんな話をしました。その中で忘れられないことは；

「日本人はもう戦争の時の話をしなくて良いと思います。我々は独立出来たのです。私も多くの友人も日本の援助に感謝しています。このハイウェーも日本が作ってくれました。私の家族はマニラから100Km先に住んでいます。このハイウェーのお蔭で、週末には家族の元に帰れるのです」。

タクシーの運転手さんは多くの国で社会の中庸を行くと言われています。私の質問の背景には、自虐史観があったのです。すなわちアメリカが日本に広め、アジア諸国にも広がった「War Guilt Information Program」(GHQによる戦争責任広報計画で、作家の江藤淳によれば、大東亜戦争についての罪悪感を日本人の心に植え付けるための宣伝計画=悪いのは全て日本だと)の影響を受けていたからだと思います。

マッカーサーが日本軍に敗れてオーストラリアに逃れた後、日本軍からフィリッピンを奪還しようとした時、日本軍は避けよう避けようとした市街戦には引き釣り込まれてしまったことも含め、日本人に倍する110万人のフィリッピン人が命を落としています。だが、両国の努力で「日比は近い隣人、信頼できるパートナー」になっているとアキノ大統領は述べています。

マレーシアには、「国難に至ると北から白馬に乗った天使がやって来て、我々を救ってくる」という言い伝えがあるそうです。「その天使はしばし留まるが、やがて北の国に戻って行く。我々は日本軍をこの天使と思っているのです」という。日本の国会議員がマレーシアを訪問した際、「戦争では迷惑をかけました」と政府の要人に挨拶したところ、「あなたは何を言うのですか。北の国からの天使は、日本

軍と思っているのです」と反論されたそうです。また、マハテル大統領は戦後「Look East」を唱え、日本に倣えと国民を啓発しました。

インドネシアではオランダから独立しようとする独立革命に日本軍が加わり、戦い方を教え、多くの兵隊さんがインドネシアに留まり、インドネシア兵と共に戦ったのでした。国立墓地には日本人の英霊もインドネシア兵と共に祀られているのです。

日本がアジアで戦ったのは中国だけです。フィリッピンではアメリカ軍と、マレーシアではイギリスと、インドネシアではオランダと戦いました。そこでの戦闘では、現地の人々にも少なからず損害を与えています。だが、多くのアジアの国々では「日本のお蔭で独立出来た。自分たちでやるべきことを日本にやらせてしまった」という政府高官や識者の反省と感謝の言葉がネット上に残っています。アジアのビジネスマンや一般人の間で、日本人は何処へ行っても好かれていると思います。私は、日本人であるがため嫌がらせや冷たい扱いを受けた経験はゼロに近いと思います。先人先達のお蔭です。

戦後80年、日本は賠償金を払い直接間接に独立を助け、経済援助をして多くのアジアの国々を応援して来ました。誇るべきことです。その前の80年(正しくは77年)は、戦争に次ぐ戦争。だが、日本が進んで持ち込んだ戦争はありません。日清戦争しかり、日ロ戦争しかり。日ロ戦争の勝利では、東西アジアを沸き立たせました。インドのネール首相は「日本の勝利は、アジアにとって偉大な救いであった」と回想しています。

最後の大東亜戦争は、「引き込まれた戦争、謀略に敗れた戦争です」。日本軍はアメリカを仮想敵国としたことが1度もないまま戦争に突入してしまいました。アメリカは1942年、日米開戦の翌年OSS(CIAの前身)の下で、終戦後の日本経営(戦略)が出来上がっていたのです。だが、第二次世界大戦の勝者はソ連とイギリスだと言われています。謀略が大きな働きをしていたのです。

大東亜戦争で日本が敗れた後、「この世から無くしたくない国を一つ挙げよと言われたら、それは日本だ」と答えたのはフランスの文化大臣でした。今や日本は総じて世界中から好感をもたれています。Visaなしで入国できる国の数では、日本は世界一の仲間に入っています。

これからの80年、100年、戦争無き社会の継続が大切であり、楽しみです。トランプ大統領の関税戦略の当初、アメリカ政府の高官は、日本の軍事費の増大をちらつかせて、「GDPの3%だ」、「台湾有事では、日本は前面に立て」と言い、さらに、去る3月29日石破総理も参列した日米硫黄島戦没者合同慰霊追悼顕彰式では、「平和を望むなら、戦争を準備せよ」とヘグセス国防長官は述べています。これは古代ローマ時代(2,800年前)のフレーズ、今も生きているのです。戦争の歴史が長く回数の多い欧州、巨大な軍事産業を抱えるアメリカ、あらゆる手段で制約無く戦う「超限戦」を唱える中国。常に領土拡張を狙う大国主義のロシア。それに小さい巨人が寄り添っています。日本

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

は世界の3大軍備大国に囲まれています。日本は一定の軍備の下、謀略に再び引き込まれることなく叡智と知力で更に100年戦闘なき平和な時代を続けて行かなければなりません。

戦闘無き平和への活動、YMCAは世界的に取り組んでいます。ワイズメンズクラブもIBCがあります。更にスポーツ、芸術、災害救助、環境問題、Business等などで、諸外国と共に大中小幾つもの輪を作って行けば、その輪は和に繋がって行くに違いないと期待しています。

*この記事に異論のある方もいると思われませんが、執筆者の意図は平和を願っての記述ですので、そのまま掲載いたします。

第二例会報告

秋元 美晴

日時：4月24日(木) 16:30~17:05 Zoom開催

出席者：秋元、大高、古賀、菅原、古田

《今後の行事予定》

・確認した

《協議・報告事項》

(1) 例会計画

【5月例会】5月16・17日(金・土)富士山一泊例会

4クラブ合同、つづきクラブ主催、鎌倉、つるみクラブも参加。フル参加の費用は21,000円。

*現在の参加者 古賀、菅原、古田

【6月例会】6月12日(木)総会

総会資料：5月末までに担当者が原案を作成する。

(昨年資料は別途送付)

資料1 24-25年度事業結果報告 秋元

資料2 会員異動状況(25/6/30まで) 秋元

資料3 24-25年度会員例会出席一覧 古田

資料4 24-25事業報告(評価) 古田

資料5 24-25年度会計報告 大高

資料6 25-26年度クラブ役員 齋藤(古田)

資料7 25-26年度クラブ運営方針 齋藤

資料8 25-26年度年間活動計画 古賀

資料9 25-26年度予算 大高

(来年度の方針が決まったら、全体のバランスを考えて、寄付先など決める。)

【7月例会】7月10日(木)クラブ総会 兵藤部長公式訪問部ワイワイ交流会

4/26(土)10:00-15:00 於：三浦YMCA グローバルエコビレッジ 現在の参加者：古賀、齋藤、菅原、古田

(3) プリテン5月号編集計画

・確認した

その他

① 8月納涼例会について

日時：8/28(木) 会場：ロイヤルホール横浜

会費：7,000円か

② 6月7日~8日の東日本区大会(宇都宮開催)には

各自で申し込みを行う。現在の申込者：大高、古賀、佐竹、菅原、田口、古田、秋元

③ 8月1日~3日の第31回アジア太平洋地域大会(熊本開催)には各自で申し込みを行う。現在の申込者：大高、古賀

④ 5月31日の横浜YMCA会員総会は、会場：とつかYMCA、時間は14:00~17:00。プリテン6月号の横浜YMCA会員総会についての執筆は秋元が欠席のため、古田さんが執筆し、第二例会報告を秋元が執筆することとなった。

⑤ 第二例会について、古田さんが齋藤さんと相談し、5月以降の開始時間は齋藤さんのご都合に合わせてすることにした。なお、今後、議事進行を速やかにを行うため、書面に記載してあることは各自読んでおき、議論しなければならないことを中心に話し合うことにした。



担当主事 菅原 歩

4月1日 YMCA入会始業式

保育園・アフタースクール 新年度保育開始

4月4日 中央YMCAキックオフミーティング

4月5日 ウェルネス・語学 年間クラス開講

4月7日 専門学校授業開始 YGK 保育開始

4月15日 美しい港町横濱をつくる会 清掃活動

4月20日 横浜YMCA/横浜YWCA 合同イースター早天礼拝

4月29日 ヘルシーキッズデイ

5月26日~27日 2-3年目職員研修

5月31日 会員総会

5月例会プログラム

日時：5月16日(金)~17(土)

場所：富士山YMCA グローバルエコビレッジ

横浜つづきワイズ主催、横浜・鎌倉・厚木・横浜つるみ・大和ワイズ共催

<16日>

1. オリエンテーション

2. 自己紹介、富士山YMCA案内・散策

3. バーベキュー

4. 懇親会

<17日>

5. 早天礼拝

6. 東山荘訪問

例会報告：古賀ワイズ

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

6月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
7	土		東日本区大会	宇都宮
8	日			
12	木	18:00	横浜クラブ第一例会	中央Y
26	木		横浜クラブ第二例会	Zocm

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA 菅原歩にご連絡下さい。

メール sugahara_ayumu@yokohamaymca.org

電話 045-307-7556